

活動支援（ホップ）部門採択事業報告



事業名	回想法夏まつり
実施団体名	回想法スクール卒業生の会「いきいき隊」
事業の目的	①小学生や親世代に、昔ながらの手作りの道具で遊ぶ楽しさを知ってもらい、昔の道具を題材に昔の暮らしを祖父母世代と語り合う機会を提供する。 ②隊員が知恵と知識を生かし、生き生きと活動できる場を提供する。
補助金額	36,000 円
事業の概略	サンサンまつり ①7月26日陽だまりハウス②8月9日回想法センターで小学生と親を対象に、ぶんぶんゴマ・笹船・竹の水鉄砲・折り紙の吹きコマ作りを行った。 夏の宵まつり 8月26日16時～回想法センターで幼児から祖父母迄を対象に、昔の道具のクイズ・すいか割り・金魚すくい・怖い話の読み聞かせ・紙芝居等々を行った。
事業の効果・成果	竹の水鉄砲は、市販のものより水量や勢いがあり「欲しい！」「作りたい！」という子もいて手作りの良さを知らえた。昔の道具のクイズは、一緒に来た祖父母が「懐かしい！」と言い、孫に使い方などを話し、祖父母にとっては回想ができ、世代間の交流が図れた。
実施しての問題点	今回の夏まつりで、来場者アンケートは、あらかじめ項目を記入した模造紙にシールを貼る方式をとったが、終了時一斉に帰るため混雑してシールが貼れなくて帰った参加者が多数いた。アンケートの取り方に一考を要す。
課題・今後の展望	陽だまりハウスでのサンサンまつりは、参加者が回想法センターに比べると少ないので、近辺の児童館・児童クラブ・子供会等へのPRも必要。
審査員評価	いきいき隊の中で、実施体制が無理なく楽しんで、不特定多数の参加者に対応できている。他団体との協働がうまくできている。自分たちの活動で終わらせず、地域の人に楽しんでもらおうとする点が良い。
アドバイス・期待する点	児童館の他にも幼稚園等に声を掛けてみてはどうか？ 今後も活動の継続を。 回想法夏まつりはそれとして、通年の行事として「昔遊び」を紹介する場づくりを考えてほしい。